



新田での集落自治座談会



集落への思いを語る参加者

集落自治座談会始まる

8月8日（水）新田集落

これからの地域づくりは、提案型を基本として、住民自らが考え行動する住民自治を確立していくことが必要です。

そこで、各集落が抱える様々な課題、また地域の夢、提案などについて話し合う「集落自治座談会」を智頭町内全87集落に出向いて開催します。

行政に対して要求を行うだけでなく、住民と行政が一緒に汗を流して新しい集落自治を行う新しいかたちを目指していきたいと考えています。

そのことにより、新たな住民自治機能が生まれ、集落が元気に、そして地域が元気になります。

この「集落自治座談会」は住民自治を考える良い機会です。

8月から山郷地区をスタートし、那岐・土師・富沢・山形・智頭地区と順次開催します。

たくさんの方の集落に対する思い、考えを聞かせていただきたいと思いますので、ぜひご参加ください。

9月1日

すぎっ子バス

ダイヤ改正

9月1日からダイヤが変わります。詳しくは折り込みの時刻表をご覧ください。また、鳥取線も10月1日からダイヤが変わります。ダイヤ改正の概要は次のとおりです。

①那岐、富沢線ルート変更

小学生が乗降する際の安全性を高めるため、智頭小学校前バス停での乗降を小学校グラウンド側でできるよう変更します。また、効率の良い運行ができるよう智頭地区内の運行ルートを見直しました。

②ダイヤの見直し

児童・生徒の利用により、慢性的に遅れの出ている午前7時台の運行所要時間とダイヤを見直しました。

また、小学校の下校時刻に合わせて、15時台・16時台のダイヤを今までよりも各路線10～20分早く設定し、最終便は各路線15分～30分早くなります。

③土曜日11時台を12時台に変更

学生や学校からの要望が多数寄せられていた土曜日11時台の便を、午前中の部活動時間が確保できるよう、12時台に変更しました。

④フリー乗降区間の変更

芦津線のフリー乗降区間を郷原から奥の区間に変更します。なお、フリー乗降区間内であっても、乗降に危険性のある場所では乗り降りできませんのでご注意ください。

すぎっ子バスをより便利・より安全に運行できるよう努めますので、ぜひご利用ください。



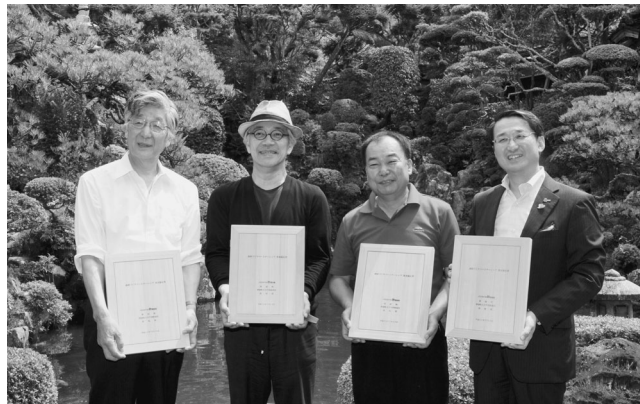
まちの話題



坂口さん（写真左）が丁寧に説明



みんなで川を楽しむ



石谷家の庭園で協定書を持って



坂本龍一さん、芦津に設置した看板の前で

坂本龍一さん来町

7月24～25日 智頭町内

坂本龍一さんが代表を務める一般社団法人「moretrees」（モア・トゥリーズ）と智頭町、芦津財産区は森林づくりに関するパートナーシップ協定を締結しました。

「moretrees」の主な活動は、森林整備や森林保全活動、森林に由来するカーボン・オフセット・サービスの提供、間伐材アイテムの企画・加工・販売です。

坂本さんに智頭の印象を聞くと、「智頭は緑と水にあふれています。芦津の森は豊かな水の音がとても印象に残りました」と答え、さらに「森を通じてお金が入れば、それを手入れに費やすことができ、健康な森が増えます。私たちはその為に、森と都市をつなげる販路を開拓します」と語られました。



森林セラピーを体験

川を身近に

7月16日（月）大呂親水公園

智頭町親水公園連絡協議会が主催する「ちびっこ河川パトロール隊」の結成式を開催しました。

今年の隊員は、小学校2年生から6年生までの16人。結成式のあと、協議会役員の指導で「水でつぼづくり」と「イワナのつかみ取り」を行いました。

昼食は、捕ったさかなをさばいて塩焼きに。夏空のもと、思いきり川に親しみました。

小学校利活用策

7月30日（月）旧土師小学校

土師小学校跡地利活用を考える会（河村博恭会長）が、因幡姫窯で陶芸家として活動している坂口知子さん（30歳・山田）を招いての陶芸講習会を行いました。

初めて陶芸を体験した浮田宅一朗さん（65歳・慶所／写真左から2番目）は「基本的な土をこねる作業から形にするまで、様々な工程があり、深いなあと思いました。土師地区の皆さんにもぜひ触れてもらいたいです」と話しました。